



カトリック札幌司教区

札幌カリタス通信

August 2010 No. 12



＝2009 社会福祉シンポジウム・福祉団体の集いと上映会＝

「大切ないのち」

札幌カリタス運営委員長 加藤 鐵男神父

いのちは尊く大切なものである、なぜなら神から戴いた恵みだからである。これがカトリックの大事な教えの一つになっています。しかし、昨今余りにもいのちが軽々しく扱われ、自死者が12年連続で年間3万人を超え、児童虐待のニュースが絶え間なく流れているような気が致します。もちろんそれぞれに事情があり、やむにやまれぬ選択であったかもしれませんが、異なる道がなかったのかと悔やまれてなりません。今話題の99歳の柴田トヨさんの処女詩集「くじけないで」の一編「神様」には、「昔、お国のためにと死に急いだ若者たちがいた、今、いじめを苦しめて自殺していく子ども達がいる、神様どうして生きる勇気を与えてあげなかったの。」というのがあります。本当に神様に文句の一つも言いたくなる気分させられます。

また、中学生で妊娠し、学校の対応では他県で生んで、その子どもを里子に出せという忠告を鵜呑みにせず、生んで育てたいという意志を伝え地域社会に受け入れてもらって、無事に女の子を産み、その子が9歳になったときに、父親に当たる同級生だった男性が、高校入学後半年で退学し夜間部に通学しながらお金を貯め、母娘を結婚式を挙げて一緒に住むために迎えに来たという暖かな実話もあります。たとえ貧しくとも望まれて生まれてきた子の人生は何と幸せなことでしょう。（⇒次頁へ続く）

・・・・・・・・ 目 次

報 告	札幌カリタス運営委員会報告.....	①－③
	カリタス家庭支援センターについて.....	④
行 事	カトリック福祉施設の集い2009年報告と2010年開催案内.....	④－⑤
	社会福祉シンポジウム2009年報告と2010年開催案内.....	⑤－⑥
お知らせ	献金者名簿と活動内容.....	⑦

人が生きていくためには様々な試練があり、自分ひとりで乗り越えていくことは並大抵なことではありません。助けが必要です、援助が必要です。しかも押し付けではなく、必要としている人が、必要な時に、必要としている事を、行なってくれる援助が求められているのです。他人よりもまず自分という考えではなく、今、困っている人がいて援助を必要としているなら、何はおいてもその人を助けるという心を日々育てあげて行きたいものです。貧しい人を助けるのはお金持ちではなく、貧しい人たちです。困った人を助けるのは困った経験を持った人達ではないでしょうか。流した涙の数だけ優しくなれるという所以です。

神から戴いた最も大切な恵みである各々のいのちを立派に生き切って、もういいよと呼ばれるその日まで、「神のみ国」のために努力したいものです。

札幌カリタス運営委員会の報告

札幌カリタスは、昨年7月20日に創立10周年という節目の年を迎えました。札幌教区内における福祉活動の推進を図り社会福祉シンポジウムや福祉施設の集いを開催するとともに、福音に根ざした草の根活動を行っている福祉団体に資金援助を行うなど、皆様のご協力・ご支援により2009年度事業を予定通り行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。

予算執行に関しましては、社会福祉シンポジウム（行事費）の規模が当初計画より拡大して予算より支出増となりましたが、積立金からの取崩もなく予備費からの振替（46,305円）で賄うことができましたことを報告し、運営委員の皆様のご了解を頂きました。

また、後記掲載の通り、運営委員改選に伴い、療養中の場崎洋神父から加藤鐵男神父へと運営委員長が菊地功司教から新たに指名されました。さらに、6月の運営委員会で推薦された新しい運営委員も1名加わり、次なる10年に向けて新しいスタートの年となります。皆様の変わらぬご支援とご協力を宜しくお願い致します。

2009年度決算報告と2010年度事業計画並びに予算をご報告致します。

1. 札幌カリタス2009年度決算報告

2009年4月1日～2010年3月31日（単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
寄付金収入	2,200,000	1,920,975	諸団体援助費支出	1,953,900	1,953,900
利息受取収入	1,000	8,233	広報費支出	170,000	91,627
			行事費支出	160,000	206,305
			旅費交通費支出	10,000	0
			事務経費支出	70,000	78,170
			積立金繰入支出	0	7,055
			予備費	200,000	(46,305)
計	2,201,000	1,929,208	計	2,563,900	2,337,057
前年度繰越金	3,152,057	3,152,057	次年度繰越金	2,789,157	2,744,208
合計	5,353,057	5,081,265	合計	5,353,057	5,081,265

2. 札幌カリタス2010年度事業計画

5月20日	2010年度援助金を交付（別途報告を掲載）
6月1日	運営委員会開催
7月下旬	札幌カリタスの日献金のお願い（文書、ポスターを送付）
8月上旬	札幌カリタス通信12号の発行
8月22日	札幌カリタスの日
9月26日	社会福祉シンポジウム（円ブリオ北海道の講演会：別途案内を掲載）
10月18日	カトリック福祉施設の集い（別途案内を掲載）
12月1日	2011年度援助金申請書を各団体へ発送
1月31日	2011年度援助金申請締め切り
2月下旬	運営委員会、援助審査会を開催

3. 札幌カリタス2010年度予算

2010年4月1日～2011年3月31日（単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	2010年度	2009年度	科目	2010年度	2009年度
寄付金収入	2,200,000	2,200,000	諸団体援助費支出	1,400,000	1,953,900
利息受取収入	1,000	1,000	広報費支出	170,000	170,000
			行事費支出	160,000	160,000
			旅費交通費支出	10,000	10,000
			事務経費支出	70,000	70,000
			積立金繰入支出	0	0
			予備費	200,000	200,000
計	2,201,000	2,201,000	計	1,970,000	2,563,900
前年度繰越金	2,600,000	3,152,057	次年度繰越金	2,831,000	2,789,157
合計	4,801,000	5,353,057	合計	4,801,000	5,353,057

※ 札幌カリタスの支出割合は、キリスト教精神に基づいて札幌教区内で福祉活動を行っている団体を支援する援助金と、啓蒙活動（シンポジウムや講演会など）への支出が大きな割合を占めております。毎年、新年度予算は、前年度の皆様からの寄付金収入をもとに計上しております。今後とも、草の根で頑張っている諸団体の活動を支援していきたいと願っております。皆様のご支援を宜しくお願い致します。

4. 運営委員の改選

〔最高顧問〕 菊地 功司教 〔運営委員長〕 加藤 鐵男神父

〔運営委員〕 Sr. 永田淑子 杉谷 彰 本間清勝 堤 邑江 南 槇子(新任) 佐藤秀雄

以上の通り決定致しました。

5. 2010年度援助金交付決定額

NPO 法人地域共同作業所ニムビン	100,000円	NPO 法人北海道ダルク	150,000円
NPO 法人札幌マック	200,000円	NPO 法人ぶどうの木	100,000円
NPO 法人札幌マック女性共同作業所	300,000円	虹の会(視覚障がい者と共に歩む会)	300,000円
札幌 JOC(カトリック青年労働者連盟)	100,000円	NPO 法人寧楽共働学舎	150,000円

申請総額 2,060,340円

援助総額 1,400,000円

6. 援助金交付内容

- ① NPO 法人地域共同作業所ニムビン…通所者への精神面・生活面での自立支援を行っています。今回は、事務処理に必要なコピー機取得に関わる経費への援助を行いました。
- ② NPO 法人札幌マック…アルコール等依存者の回復と社会復帰の自立支援を行っています。今回は、昨年度札幌で実施した J C C A 全国研修大会の報告書作成に関わる経費への援助を行いました。
- ③ NPO 法人札幌マック女性共同作業所…アルコール等依存症の女性の回復と社会復帰の自立支援を行っています。全国の女性関連施設と連携した「女性のための女性依存症セミナー」開催に関わる経費への援助を行いました。
- ④ 札幌 J O C (カトリック青年労働者連盟)…青年労働者の諸活動を通しての養成を行っています。来所する青年たちが利用するパソコンの買い替え費用への援助を行いました。
- ⑤ NPO 法人北海道ダルク…薬物依存症者の回復を支援する専門のリハビリを行っています。その薬物依存症回復プログラム普及のためのフォーラム開催経費への援助を行います。
- ⑥ NPO 法人ぶどうの木…発達障がいをもつ子どもたちへ一貫した発達支援を行うための施設です。今回は、子どもたちへ行う支援内容を客観的に分析考察し、支援者が研究学習を深めるための視聴覚機材購入経費への援助を行いました。
- ⑦ 虹の会(視覚障がい者と共に歩む会)…視覚障がい者に対して典礼関係の印刷物や、各小教区情報などを点訳・音訳したり、当事者の研修会や交流会開催の支援を行っています。昨年度購入した点字プリンターの借入金の返済費用への援助を行いました。
- ⑧ NPO 法人寧楽共働学舎…心身に様々な障がいや問題を持つ人や、そうした人々と共に生きようとする人たちが、共に自立するための共同生活を行っています。今回は、消化範囲と能力を高めるためのパッケージ式消火設備の設置費用への援助を行いました。

7. 援助金申請方法

毎年12月1日から申請書類を配布します。巻末の事務局へお問合せください。

カリタス家庭支援センターの活動について

開設以来の相談処理件数の推移は、2004年度＝604件、2005年度＝665件、2006年度＝849件、2007年度＝794件、2008年度＝1,115件、2009年度＝1,803件と増加曲線を辿っている。センターの統計によると2009年度の相談背景は、健康＝37%、精神障がい＝43%、知的障がい＝5%、身体障がい＝5%、AC傾向＝10%で、その相談の多くは人間関係の困難さが背景にあるといえます。

教職者などの早期離職数の増加や、自殺者が3万人を超える日本の現状が示すように、繊細なセンサーを持っている人ほど傷つきやすく、生き辛い世の中が現在の社会なのでしょう。今年度5月からカリタス家庭支援センターでは、そのような弱い立場の人たち(うつ等の精神障がいを抱えている人たち)を対象にした「当事者研究会」をスタートした。「当事者研究会」は、この研究の原点から関わってこられた「浦河べてるの家」の最初の住人であるソーシャルワーカー向谷地生良さん(北海道医療大学教授)のお手伝いを頂いて、症状・服薬・生活上の課題・人間関係・仕事などの様々な労苦を、自分が主人公となって「自ら主体的に」「自分を助けていこう」という取り組みです。仲間と経験を分かち合いながらの研究では、そこに豊かな人とのつながりが生まれてきます。お互いの弱さこそが、人と人とをつなげ、謙虚にさせ、新しい可能性を生み出す力があることに気付かされていると担当者は語っています。

お問い合わせは☎011-252-5766まで。

また、各教会を訪問してミサ後に時間を頂き、センターの活動内容を統計数値や画像などに基づき説明し、触れ合う活動を開始しました。小教区へ来訪の際は、皆様のご協力・ご支援を宜しく願います。

行事報告

▼2009年10月19日 第4回カトリック福祉施設の集い開催

この集いは、札幌教区の札幌カリタスが主催し、教区内の社会福祉法人の設置者と施設管理者等を対象に、カトリック精神を生かす実践的活動の紹介や講演を行うと同時に、福祉施設が抱える様々な課題を分かち合うことを目的に実施している。札幌教区内には7法人に、大きく分類して12の施設がある。



午前のセッションは、函館の旭ヶ岡の家でチャペルサービスの一環で行っている「それいゆクラブ」を、ボランティアの人たちによるキリスト教のお話会を中心に市毛晋氏が紹介。市毛氏は、あるマスコミ取材者が『創設者のグロード神父は絵描きでありアーティストである。旭ヶ岡の家は「信仰・美・遊び心」の3つで表される。』と語っていると述べ、グロード神父は常々「カトリック施設にはチャペルサービスが大切に重要である」と語っているとも紹介。

「それいゆクラブ」の始まりは二人のマスール(白百合学園のシスター)で、開設3ヶ月目には行われていたと記録されている。それいゆクラブの目的は、入所者がホームで心

豊かに安心して過ごせるように、その一助として、神のみ言葉にふれる機会を設けるため、誰でも自由に参加できる。ターミナルケアに至るまでの内的狙いがここにある。

毎週土曜日の午前10時30分からの一時間。「祈り、聖歌」に始まり、「聖書に関するビデオや、テキストを利用した聖話」を行い、「祈り、聖歌」で終了する。

午後のセッションは、北広島・天使の園の子ども達の入所理由の変化と、子どもたちへのグリーンケアのあり方について渡辺憲介氏が紹介。

現在は、開設当初と入所理由が大きく変化し、そうと思われるものを含めると『虐待』が入所理由の80%になる。そして、そのうち60%がネグレクト（養育放棄・拒否・無視）で、この場合ケアするのに長い時間が必要となる。

また、虐待を受けて入ってきている子には、同時に、発達障がいの子が多いのも実態である。この場合、指導員だけでは対応が難しいので、専門家のケアが必要となる。しかし、限られた人員と時間の中での対応となるので非常に難しい。

なお、発達障がいの入所者が多くなっている背景には、行政として、小さいうちは、知的障がい児というレッテルを貼らないようにしている面があり、天使の園のような施設に送られてくるとのことである。

「管理ではなく、支援すること」が私たちの務めであり、「世の中で一番弱い人のため、最も困っている人のためにキリストの愛を实践すること」が私たちの大切な務めである。そのために、カトリックの福祉施設として、教会として、聖職者を含め私たち信者として、何が出来るか、何をなすべきかを常に見つめなおす必要があるだろう。

▼「2010年カトリック福祉施設の集い」の開催案内

10月18日（月）10時30分から聖ベネディクトハウスにて開催

この集いは、道内のカトリック福祉施設の設置者および施設長を対象に開催している。今回は、午前中に「どうして他人を助けるのかーカリタスジャパンの活動で学んだことからー」をテーマに札幌教区管理者の菊地功司教（カリタスジャパン責任司教）の講演を行います。

午後は講演内容に基づいて、2グループ程度に分かれて、各施設が抱えている諸問題についてグループディスカッションを行う予定です。詳細に関しましては、各施設に別途ご案内いたします。

▼2009年8月8日 第10回社会福祉シンポジウム開催

「社会福祉団体パネル展」と「地球のステージ=ありがとうの物語」上映



10時から、藤女子大学北16条校舎で、18団体と、およそ百人が参加して行なわれた。団体相互間の交流をはじめ、紛争地域で医療や精神的ケアの援助を続ける桑山紀彦医師の映画を通して、それらの地域の子どもの現状を垣間見ていただけたことだろう。

地主司教が挨拶の中で、パパ様が言った印象的な言葉に「多くの様々なことを皆さん知っているでしょうが、皆さんが知らないものがあります。それは修道会

の数です。」と言ったことを思い出しました。それと同じように、博愛事業や、慈善の草の根活動を行っている団体の数は多数あります。全てに係わっていくことは不可能であるとともに、札幌カリタスの目指しているものは、キリストの心をもった愛の仕事であり、そのような活動に係わることです。現在、政府の制約を受けたりして、財政的にも各団体は経営的にも大変であるが、キリストの心をもった活動をしている団体と手を組み、助けて、そのような事業体と協力していきたいと考えています。

しかし、その事業をやるために活動が必要なのではなく、キリストの愛を実践するために事業を行なうこと、活動することが大切なのだということを中心に留めておいて下さい。食べ物や物を困った人に与える慈善事業ももちろん大切なことです。しかし、施しのみ(あるいは施しを主体に)行っている団体が多くなってはいけません。

わたしたちが初代教会で最初に与えられたのは、宣教であり、言葉で述べ伝える仕事です。そして、聖職者以外の皆さんがそれを行うことが、現代ではとても大切なことです。皆さんと協力して、キリストの心をもった愛の仕事を、さらに広めて行きたいと考えています。

参加した団体代表から一言

各団体ともキリスト教精神を大切にしようと考え活動していると思います。つい日常の活動・生活の中では、忘れがちになってしまいます。しかし、ふと立ち止まり考えると、お祈りに支えられているとつくづく感じます。神さまに感謝しています。

平和のオブジェに貼られたメッセージを紹介

- ★絶対に奪えないもの、それは笑顔、笑顔は平和を運んでくれるもの。世界が笑顔で輝きを取り戻せますように。
- ★おろかな戦争、何の意味も持たない戦争、憎しみやエゴをすて、世界中の皆が感謝の種をまけば平和になれるよね。
- ★神様の意志を行っていきける自分になります。神様助けてください。
- ★アリッサが話してくれたことで、いじめのことは、私も神様にお願いをし、なくしてほしいと思います。平和がたもてる世界にずっとしていきたいです。人々が助け合って生きていけたらいいです。
- ★神さま 私を平和の道具としてお使いください。憎しみのあるところに愛を、争いのあるところに平和を、世界の人々が弱い人を責めませんように。対等な立場にある人が笑って別れられるような、そんなケンカが存在しない、さわやかな世界になりますように。
- ★日本人の豊かさを、世界の貧しい国に分けて上げて下さい。



▼2010年度社会福祉シンポジウムの案内

北海道円ブリオが主催する「第12回生命尊重を考える講演会」(日時：9月26日、於：藤学園講堂)を後援いたします。講師は渡辺和子シスター。

家庭機能の低下、多発する児童虐待、若年未婚妊娠と人工妊娠中絶の低年齢化など、社会の状況に対して、カトリックの立場からメッセージを届けます。

札幌カリタスの事業

- ① カトリック札幌教区における社会福祉活動の推進
- ② 福音に根ざした社会福祉団体や社会福祉活動への資金援助
- ③ 援助資金のための募金活動
- ④ 関係諸団体相互の情報交流

援助申請方法

毎年12月1日から申請書類を配布します。

申込は、翌年1月末日〆切ですので、巻末の事務局へお問合せ下さい。

札幌カリタスへの献金者名簿（2009.4～2010.3）敬称は略させていただきます

※ 日頃から札幌カリタスの活動に対する皆様のご援助・ご協力に心から感謝申し上げます。

今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

▼ 教会

岩見沢、恵庭、大麻、北1条、北11条、北11条マリア会、北26条、北広島、倶知安、小野幌、新田、住ノ江、千歳、月寒、手稲、富岡、花川、真駒内、円山福祉部、山鼻、旭川5条、旭川6条、大町、枝幸、神居、士別、砂川、滝川、名寄、美唄、富良野、留萌、当別、八雲、湯川、函館地区、帯広、釧路、苫小牧、伊達、登別、東室蘭、室蘭、室蘭信徒会、苫小牧地区信徒大会、北見地区カトリック大会、北見、美幌

▼ 修道会、在俗会

殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会、マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院、マリアの宣教者フランシスコ修道会北広島修道院、ベネディクト女子修道院、十勝カルメル会、伊達カルメル会、トラピスト修道院、トラピスチヌ修道院、聖心会、ヴィアンネ会本部、聖マリア在俗会

▼ 団体、個人、外

ボランティアネットワーク、北見カトリック学園教職員研修会、池田カトリック幼稚園、足達雅子、中村美恵、他

宗教学法人 カトリック札幌司教区

札幌カリタス

【献金の郵便振替口座番号】

0 2 7 4 0 - 8 - 3 5 3 2 9

〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館

☎ 011-241-2785 FAX 011-221-3668

E-mail officecsd@csd.or.jp <http://www.csd.or.jp/charitas/>